

## 【安全大会盛大に開催される】

平成20年度安全大会が4月18日（金）田村市大越公民館に於いて、42名の出席者により盛大に開催されました。（報道関係者除く）



始めに社長より、バイオ燃料生産拡大によって穀物の高騰により、あらゆる製品の価格上昇する中、道路特定財源の暫定税率の廃止により公共事業の削減がさらに加速し、経営体力の余剰のない地方の建設業は公共工事の削減による連鎖倒産を発生させかねない強い危機感を抱いているときに、死亡災害が発生したら、行政処分や社会の制裁を受け、企業経営は重大な事態におかれ存亡の危機に及んでいきます。労働災害の死亡者数は456人と過去最小値を記録しましたが、建設業の占める割合は3分の1以上、死傷災害に於いては5分の1以上と高い比率を占めており、特に転落・墜落災害は、死亡災害で4割を以上、死傷災害で

も3分の1以上であり、建設機械等による災害や土砂崩壊災害も依然として多発している状況にあります。人命尊重の観点からもとより、建設業が基幹産業として今後も発展していくためにも、労働災害防止は絶対不可欠であり、災害ゼロを目指し、誰もが健康で安全で安心して働くことの出来る明るい職場形成をしていかなければいけないと挨拶がありました。

勤続表彰者

渡辺敏夫様（20年）、桑原英子様（10年）

安全標語表彰者

最優秀賞に国分雄浩様の「危険箇所皆で摘み取る明るい職場」

優秀賞に 遠藤長男様の「見直そう！手抜きと油断無理とむだ」

優秀賞に 松崎浩徳様の「まーいいか・・・こんな時こそ要注意」

無事故無違反表彰者

酒井高志様、鈴木ユキ様、久保田芳子様が38年

石井輝子様が36年、武田雅章様が35年

和泉三郎様、菅野肇様、宗像春美様が30年

現場体験談では、大山部長が災害に至らなかった体験談を話ししてくれました。

ダンプの荷台が雨で滑り尻餅をついた。

自動車のドアに手を挟んでしまった。

杭打ちをしているときに外れて手を打ってしまった。

草刈り機で作業中小石をはねてしまった。

釘が出ているのに気づかず長靴を破いてしまった。

車の運転中信号が赤か青が分からずに通り過ぎたことがあった。

講演では、東北インテリジェント通信（株）福島営業所長の菅野淳一様より日本の文化が漆であったことや、元小泉首相との同行の旅でのエピソード話、また、田村地区の名称でも、小野町の千本桜の写真が高速道路から撮られたことや、魔よけのお人形様が5箇所存在していたこと、三春町の六地藏が道筋に1体ずつ置かれていたこと、都路村の六地藏の首が無い言い伝えなど、日本酒の話しや郷土料理についても話しをして頂き、最後はふぐしま弁の方方で占めて頂きました。

今年から現場で重機との接触防止のため、グーパー運動を実践して頂くために、3組による模擬練習を行いました、安全パトロール時にはチェックしていきたいと思っておりますから、常日頃から実施し違和感の無いようお願い致します。今年度の安全標語募集に当たりまして、42名の方々から77作品と多数の応募頂き本当にありがとうございました。

